

## 2 測定結果の概要報告（環境保全課長）

6月22日から行っている区の測定結果についての報告。  
放射線量の測定については、地表面から5・50・100センチメートルの3つの高さで測定した。

### ① 定点測定

隅田公園、錦糸公園・東向島北公園の3か所で測定している。

隅田公園は平日毎日測定しており、5センチメートルの高さでは低い日は0.10、高い日は0.17、50センチメートルの高さでは低い日は0.09、高い日は0.15、1メートルの高さでは低い日は0.10、高い日は0.14、全体で0.09～0.17の範囲であった。また、錦糸公園と東向島北公園は毎週水曜日に測定しており、錦糸公園は0.13～0.17の範囲、東向島北公園は0.09～0.12の範囲であった。いずれも比較的安定した数値が測定されており、健康に影響のないものと考えられる。

### ② 区内全域による測定

区内を約1キロメートルメッシュに区分し、各区分内にある公園を選び測定した。公園の中の測定場所は、周りに高い樹木やビルなどの遮蔽物があまりない土の部分としたため、結果として各公園の中央付近の土の上ということになっている。この数値も概ね安定している。住まいの近くの数値を参考にして欲しい。

なお、東墨田公園については、健康に影響のない範囲ではあるが、地表面で0.24という比較的高い数値が測定されたことから、現在も引き続き経過観察している。その測定結果は大分下がっており、安定した状態だと考えられる。

### ③ 保育園・幼稚園等での測定

園庭と砂場を基本に2か所で測定しているが、近くの公園を園庭として利用されている場合にはその公園で測定している。

保育園の測定結果について、高い数値は測定されておらず、健康に影響のない数値と考えられる。また、幼稚園の測定結果については、一部比較的高い数値が測定されたが、直ちに健康に影響が及ぶレベルではない。しかし、安全を期すためにも高い数値が出た場所については使用を控えるとともに引き続き調査を継続していきたいと考えている。

### ④ 小・中学校での測定

校庭・砂場・プールサイドの3か所で測定した。

小学校の測定結果について、比較的安定した数値が出ており健康に影響のない数値と考えられる。また、中学校の測定結果については、一部比較的高い数値が測定されたが、直ちに健康に影響が及ぶレベルではない。しかし、安全を期すためにも、高い数値が出た場所については使用を控えるとともに引き続き調査を継続していきたいと考えている。

⑤ 小・中学校のプール水の測定

区立小学校・中学校のプール水中の放射性物質について測定した結果は全て不検出であった。

⑥ 公園の砂場の土壌測定

定点測定している 3 か所の公園の砂場の砂の放射性物質について測定した結果は、放射性ヨウ素 131 は不検出であったが、放射性セシウム 134・放射性セシウム 137 は少しだが検出された。その値は、飲料水の基準 300 ベクレルと比較しても高い数値ではないと認識している。

**【測定データの考え方】** 1年間の積算線量を推計する公式は次のとおり

(測定結果－自然放射線量) × (16/24×0.4+8/24×1) ×24 時間×365 日

- ※条件
- ・自然放射線量は、全国平均で 0.05 マイクロシーベルト/時間
  - ・屋外に 8 時間、木造家屋内に 16 時間いると仮定
  - ・木造家屋内滞在 (16 時間) における低減効果 (係数 0.4)